



# KUNG FU HUSTLE

ジャッキー・チェン

製作・監督 / ロー・ウェイ  
提供 / 東映株式会社

■カラー作品■

# 精拳

けんせい

映倫

龍の精、虎の精、蛇の精、豹の精、鶴の精、5人のいたずら拳精ひきつれて  
さらにはやく!さらにはげしく!!  
ジャッキー拳法ますますパワー・アップ!!

# 拳

けんせい

# 精

## かいせつ

「モンキー・シリーズ三部作」の「酔拳」「蛇拳」で、「笑拳」で、コメディ・クンフのスタイルをバッチリ決めたスーパード・ヒーロー・ジャッキー・チェン。日本でも人気も急上昇、ついには全国各地に熱狂的なファンクラブまで結成された噂の男ジャッキー・チェンが、心機一転、奇々怪々、前人未踏の全く新しい境地に挑戦する。名づけて、SF!! メルヘン!! オカルト!! 拳法!!

ジャッキーの育ての親と言うべき恩人ロー・ウェイ監督のメガフォンのもと、拳法の総本山・少林寺を舞台に物語は展開する。夜な夜な寺を騒がす妖怪相手に、ジャッキー演じるサエない寺男が、勝負を挑む。犯人に前後して次々に巻き起る奇怪な殺人事件。犯人は、いったいこの誰なのか、妖怪ともなのか。実はこの妖怪、宇宙から降ってきた隕石に刺激されて出現した拳法の妖精。すなわち拳精なのだ。龍、蛇、虎、鶴、豹を象徴した、いたずら拳精5人組が、手とり足とりジャッキーに、それぞれ極意の拳法をさすけ、謎の真犯人の正体をあばき、丁々発止、アクションの限りをつくす。特撮あり、笑いあり、アクションありのバラエティに富んだフル・メニエーに、ニュー・ジャッキーもエキサイト!!

ジャッキー・ファンを、アツと驚かせる仕掛けも、たつぷり盛り込んで、よそおいも新たに、ジャッキー・チェンの新しい世界がひらける。

現在ジャッキーは、ブルース・リーの名を全世界に高めたロバート・クロウズ監督のメガフォンのもと、アメリカで鋭意出演中、世界（殺人壕）に、アメリカで鋭意出演中、世界の檜舞台に上りつつあるが、東映では、この「拳精」以降も、「少林木人巷」（原題・今秋公開予定）等、ピッカピカのジャッキー・ムービーを待機させている。ジャッキー旋風は、まだまだ、これからというところ。

監督ロー・ウェイは、香港映画界にその人ありといわれた娯楽映画の巨匠。「ドラゴン危機一発」「ドラゴン怒りの鉄拳」などを監督し、ブルース・リーを一挙に大スターにした香港一の映画人が、ジャッキーと組んでパワー全開したのが、この「拳精」である。ベテランらしい格調高い演出の中に、ジャッキー独特のユーモラスな個性が生かされている。

## 成龍に魅せられて

向涼子(イラストレイター)

成龍狂人会。自分たちで考えたとはいえず、この名前に馴染むのに、約半年かかりました。最初は本当に、冗談半分だったのです。何気なく「酔拳」を見、成龍を知り、「すごい! か……かわゆい……っ、いや、やっぱすごい!」となり、あとはもう成龍、成龍の毎日でした。

「チェンの腰帯……」「あア、あのタイトル・シーン」（皆様は「酔拳」のタイトル・シーンを覚えておいででしょうか。あの胸いっぱい

息を吸いこむ成龍の半裸体を!!)

あの初めて「酔拳」を見た日の、「わっ、すごい!」でも、かわゆい……っ、いや、やっぱすごい! 見るからに、すごいんじゃないかと、かわいい顔で、さりげなくすごい。でも、「どーだ、すごいだろう」という、押しつけがましさがなくて、「ううん、大したことないねん……けど、ほんまは苦労してるねん……」なんて、かわいい声が（何故か大阪弁で）聞こえてきそう。映画のキャラクターだけとは思えない優しい表情、26才なんて信じられないあどけなき、画面いっぱい功夫を演じてみせる美しい肉体、そしてあの強さ!!

それらを全部ミックスすると、答は「セクシー!」。「色気がない」なんて、評論家の先生が前に書いておられました。あれをセクシーと呼ばずして、何かセクシー蛇!!? かわいらしさも、色気の一要素なのです。でも、書いても書いても書ききれない成龍の魅力は、スタリオンで体験するのが一番。私達は、一ファンにすぎず、本当に独断と偏見で、成龍に狂い、これからも狂い続けていくことでしょう。いつのまにか、大きくなってしまった成龍狂人会（と聞いても、私達二人で処理できる人員は、百名余り。殆どの人たちには入会してもらえず、実費でイラストハガキをお分けすることしかできませんでしたが、成龍をボスターに「成龍」も成龍の記事を!」と、わめきつけていた昨年8月頃と、まるで変らぬ投書だけの会本なのです。そして、これを私達はP・Cではなく、「私設宣伝団体」と思っています。最後に、成龍に魅せられてしまった多くの人達! これからも、しっかり狂って成龍を応援し続けましょう!